

## 情報収集対象の産業分野

「営業・販売・事務分野」については、受講希望者数、訓練コース数、実施機関数、いずれも他の分野と比較して多いものの、就職率は低い分野に分類されていることから、訓練内容が求人ニーズを捉えたものになっているかなどを検証する必要があるとして、「営業・販売・事務分野」（特に事務分野）を令和 7 年度の対象分野とした。

## 情報収集（ヒアリング）実施状況

○ヒアリング実施期間 令和 7 年 7 月～ 9 月

○ヒアリング実施者 岡山労働局、岡山県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部

○ヒアリング先

①職業訓練実施機関 3 機関

公共職業訓練（委託訓練） 2 機関

求職者支援訓練 1 機関

②職業訓練修了者 7 人（アンケート実施数 3 2 人）

③職業訓練受講者採用企業 7 社（アンケート実施数 1 3 社）

## 令和6年度 訓練の状況

### 【営業・販売・事務】

| 訓練種別             | 定員  | 応募者数 | 受講者数 | 応募倍率   | 充足率   | 就職者数 | 修了者数 | 就職率   |
|------------------|-----|------|------|--------|-------|------|------|-------|
| 公共職業訓練<br>(委託訓練) | 463 | 482  | 392  | 104.1% | 84.7% | 260  | 355  | 73.2% |
| 求職者支援訓練          | 111 | 134  | 95   | 120.7% | 85.6% | 23   | 59   | 39.0% |
| 全 体              | 574 | 616  | 487  | 107.3% | 84.8% | 283  | 414  | 68.4% |

### 【営業・販売・事務】以外

| 訓練種別              | 定員    | 応募者数 | 受講者数 | 応募倍率  | 充足率   | 就職者数 | 修了者数 | 就職率   |
|-------------------|-------|------|------|-------|-------|------|------|-------|
| 公共職業訓練<br>(委託訓練)  | 241   | 183  | 149  | 75.9% | 61.8% | 114  | 141  | 80.9% |
| 求職者支援訓練           | 345   | 298  | 213  | 86.4% | 61.7% | 92   | 162  | 56.8% |
| 公共職業訓練<br>(施設内訓練) | 542   | 470  | 379  | 86.7% | 69.9% | 300  | 333  | 90.1% |
| 全 体               | 1,128 | 951  | 741  | 84.3% | 65.7% | 506  | 636  | 79.6% |

※数値は速報値のため、今後変動の可能性がある。

(厚生労働省提供)

# ヒアリング実施結果概要①（職業訓練実施機関－１）

## 【質問】

訓練実施にあたって工夫している点（募集、カリキュラム等）

- 訓練生からの要望があった場合や、講師がマンツーマンでフォローしないと進まない初心者がいた場合などに動画を作成し、訓練生用サイト内で（Web上）閲覧できるようにしている。
- 宅建資格の取得及び知識の習得のみではなく、実際に就職してから役立つビジネスマナーやパソコンの基本操作等をカリキュラムに組み込んだ。
- 単なる知識の習得にとどまらず、反復演習を取り入れることで実際に業務で使えるスキルが身につくように工夫した。
- 訓練内容、就職等イメージしやすいよう修了生の声をチラシに掲載した。

- 受講生の習熟度に応じた取組が必要。
- 就職後を見据えたカリキュラムを策定。
- 訓練前に訓練内容を理解してもらうことが重要。

訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況

- ジョブ・カードをキャリアコンサルタントと共有し、キャリアコンサルティング時間外での相談がチャットやコメントでできるようにしている。
- 2回目のキャリアコンサルティング時に、実際に興味のある求人票を持参していただく。訓練生が漠然と考えている条件等を実際の求人票を確認することでギャップを埋めることができ、支援の幅を広げることができる。3回目には実際に応募を考えている求人票を持参してもらうようにしている。
- 受講生の早期就職を支援するため、訓練開講中から修了後3か月までで受講生の就職が決定するまで、伴走して支援できる体制を整備している。
  - ・ 就職支援の授業と連動し、自己理解、職業理解を深める。
  - ・ 職務経歴書添削等を通して、キャリアの棚卸を行い、職業選択に活かす。
  - ・ 学びを活かす職種、キャリアを活かす職種などの情報提供を行う。

- ジョブ・カード作成のキャリアコンサルティングを実施。
- 求人票を用いるなど応募へのイメージ付けが必要。
- 伴走型支援が可能な体制整備が必要。

# ヒアリング実施結果概要①（職業訓練実施機関－２）

## 【質問】

就職支援の取組（就職につながった事例、継続している取組、最近変えてみてよかった取組等）

## 【実施機関からのご回答】

- job tagを活用し、仕事理解を深めてもらったり、適性検査への対応力をつけてもらったりしている。
- 修了生の就活事例を紹介したり、職場での業務内容を紹介したりしている。資格取得のモチベーションが上がったり、就職に関する意欲が高くなっている。そのためにも、修了生から具体的な話を聞き情報収集を行っている。
- 就職支援の授業とキャリアコンサルティングを連動させ、自己理解を深め、職業選択に活かせるよう支援している。
  - ・ ハローワーク求人検索、応募書類添削、模擬面接の実施。
  - ・ Web関連職や事務・広報職等の情報提供。
  - ・ 求人票の読み方や必要スキルの確認を行い、応募のミスマッチの防止。
  - ・ 過去の修了生から集めた質問事例集を用いての面接練習。

## 【検討課題等】

- 職業情報提供サイト（job tag）の活用が有効。
- 受講生のモチベーション維持や就職意欲の喚起を図ることが必要。
- 就職支援とキャリアコンサルティングを連動させた取組を実施。

訓練実施にあたって国への要望、改善してほしい点

- 職業訓練を継続することが年々難しくなっている。市場ではパソコンスクールも淘汰され、指導するカリキュラムも増え、講師の負担も増加しているうえ、講師謝金の高騰や急な訓練中止など、講師が働く上での環境は悪化している。現状を調査して把握してほしい。
- どのコースにおいても共通して見られる傾向として、訓練生から聞く中でハローワークから「とりあえず訓練を受けてみたらよいのでは」「今は訓練に集中して頑張って」や訓練期間中に「訓練受講給付金」の受給を勧められた等、ハローワークの担当者が就職に向けての支援をしていると感じられないと思うことがあります。また、最近は通常の就職支援だけでは就職ができないであろう訓練生が数名見られます。もちろん、就職に対する意欲はあり活動もされますが、その他の支援も必要ではないかと思えます。併せて、まれに就職意欲の低い方もいらっしゃるようですので、入校選定の時点で意識の再認識が必要ではないかと考えます。
- WEB関連コースを実施するための講師を確保するには、講師の指導力の面や謝金面での問題があり、困難な状況にある。この問題を解決するために、WEB系を教えるスキルとモチベーションを持つ人が講師となれるよう、講師育成のための機関や制度の整備が必要である。

## ヒアリング実施結果概要②（職業訓練修了者）

### 【質問】

### 【職業訓練修了者からのご意見】

### 【検討課題等】

訓練を受講する際や就職する際に不安だったこと。

- 未経験の分野を受講したので、実際訓練が始まるまでどんなことをするのか、きちんと理解していなかった。
- 訓練期間中に求める資格やスキルが取得できるか不安だった。
- 検定で取得した簿記が日常業務で活かすことができるか不安だった。
- 未経験の職種だったので、分からない用語や言葉遣いが不安だった。

- 訓練内容を十分理解できていないことから、訓練説明会への参加勧奨やハローワーク窓口での丁寧な説明が必要。
- 職業理解を高めるために職業情報提供サイト（job tag）の活用を推進。

訓練内容のうち、就職後に役に立ったもの

- ビジネスマナー
- パソコンスキル
- ITパスポート取得時に勉強したビジネス用語
- 色々な年齢の方と話ができコミュニケーションが取れたこと。

- ビジネスマナーやパソコンスキルが役立っている一方で、就職先や配置先によっては活用されないものがある。
- ハローワークで訓練受講前、受講中、修了後まで一貫した就職支援が必要。

訓練内容のうち、就職後にあまり活用されなかったもの

- 病院への就職のため、日商簿記2級知識の大半
- 経理部門に配属されたので、総務関係で習ったことについては今のところ使用することはありませんが、時間管理の内容や税制などに関して勉強したことは社会人としてとても有益だと思います。

就職後、訓練カリキュラムに含まれているとよかったと感じたスキル、技能等

- VBAはもう少し色々やってみたかった。
- エクセルでマクロを使ったりしたが、今はアクセスをよく使って仕事をしているので、もう少しやっておけばよかった。
- スプレッドシートを職場で使用する人が多いので、もう少し教えてほしいと感じた。

- 事務系の職種は、パソコン能力が必須であるが、求められるレベルが就職先によって異なる。
- 必要なスキル全てを網羅することは困難だが、訓練前に希望の職業について理解しておくことが重要。



# ヒアリング実施結果概要③（職業訓練受講者採用企業）

## 【質問】

## 【採用企業からのご回答】

## 【検討課題等】

訓練により得られたと考えられるスキル、技能等のうち、採用後に役に立っているもの

- 職業訓練を通じて学ばれた簿記や仕訳の基礎知識、会計ソフトの操作経験は実務において即戦力として大変役立っている。
- 日商簿記2級を取得されており、会計の仕訳を含め早期に理解されている。また、PCスキルも習得されていることで業務に活かされている。
- 業務でパソコンを使用するため、タイピングスキルが役立っている。また、エクセルの関数など、基本的な知識を持っていることで、実際の業務手順の説明も比較的スムーズに理解できている。

訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等

- 実務では会計ソフトや社内システムを操作することが中心となるため、より多様な会計ソフトに触れておくと、適応がさらに早くなると感じます。
- WordやExcelといったMicrosoft Office製品だけでなく、Google Workspaceなどのクラウドベースのアプリの知識を身に付けておいてほしい。

訓練修了者の採用について、未受講者の採用の場合と比較して期待していること（同程度の経験等を有する者同士を比較）

- 訓練修了者は簿記や経理の基本を理解しているため、ゼロから教える必要はなく、業務への立ち上がり早い点に期待しています。
- 基本的なことだけでなく知識を有していることで理解も早く、確実に業務を遂行できること。
- 即戦力として期待できる。
- ビジネスマナー（言葉遣い等）
- PC基本操作（Web検索、エクセル、ワード等）及び、企業における基本的なPCセキュリティの習得を期待します。
- 付きっきりで指導しなくてもよい点

- 経理の基礎知識やパソコンスキル、会計ソフトの操作が即戦力として役立っているが、一方で多様な会計ソフトやクラウドベースの知識がほしいとの意見あり。
- 採用企業によって必要な知識等が異なるため、応募前に求人内容等の十分な情報収集が必要。

- パソコン操作等の習得には一定の時間を要するが、人手不足の中で採用後に社員教育、人材育成を行う時間的な余裕がない企業にとっては、訓練修了者は優位。
- 応募企業に対して訓練修了者であることをアピールすることが必要。

# ヒアリング結果を踏まえた今後の対応について

## ヒアリング結果から見てきた検討課題等

## 今後の取組の方向性

### <訓練設定>

- ビジネスマナーやパソコンスキルが採用後に役立っている。
- パソコンスキルは就職先によって大きく異なる。
- 簿記や仕訳の基礎知識、会計ソフト操作経験が即戦力として活かされている。
- 企業における基本的なPCセキュリティの習得が期待されている。
- クラウドベースのアプリの知識が求められている。



- ビジネスマナーや基礎的なパソコンスキルを習得できる内容を盛り込んだ訓練コースを継続。
- より高度なスキルや知識が必要な場合には、他分野の適切なコースの紹介等を検討。
- PCセキュリティ対策に関するカリキュラムの充実。

### <就職支援>

- 訓練実施機関において訓練受講中から就職が決定するまで（修了後3か月）伴走して支援ができる体制を整備している。
- 就職支援の授業とキャリアコンサルティングを連動させて就職支援を実施している。



- 支援内容等についてハローワークと訓練実施機関等が情報を共有し、就職支援を強化。
- ハローワークの窓口で訓練受講前から修了後まで一貫した個別の就職支援を実施。
- ミスマッチを防ぐため訓練修了者歓迎求人確保。

### <その他>

- 訓練内容を十分理解せずに入校している。
- 訓練効果が期待される受講生の確保に苦慮している。



- 訓練実施機関等による訓練説明会（オンラインを含む）の開催及び参加勧奨。
- 適切な受講あっせんを行うため、職業訓練施設見学会へハローワーク職員が参加。
- 訓練制度の知識向上のため、ハローワークにおいて訓練担当者以外の職員向けに研修を実施。
- SNS（ライン等）を活用した訓練情報の発信。